



町議会だより

お・お・な・ん

No. 98
2026・7・15
(R8)



うまく踊れました！

口羽保育所の園児たち

口羽保育所・小学校合同運動会

6月
定例会
特集

今月の
注目！

- | | | |
|---|----------|-----|
| ■ | 深刻な保育士不足 | (2) |
| ■ | 相次ぐ不手際 | (3) |

深刻な保育士不足

6月
定例会

6月定例会を6月2日から16日までの15日間の会期で開催しました。町長提出議案19件、陳情1件、請願1件、発委1件を審議し、すべて可決しました。

請願は3保育所閉所通告に対し、継続運営に向けた支援を求めるものです。5ページを参照ください。

保育士不足で突然の閉所通告！

令和8年2月に開催された全員協議会で保育士不足の状況と、保育所閉所が検討されていると報告されました。

その後、運営する法人の決定を受け、令和9年3月末をもって、阿須那保育所・市木保育園・日貴保育所を閉所し、小規模保育所を中心に再編をすると報告があり、自治会や保護者会からは継続運営に向けた支援強化を求める請願が提出されました。

町は、4月27日、30日、5月1日の3日間地域説明会を開催し、約150人の町民が参加しています。それぞれの公民館で町内の保育士や園児の動向について説明しました。また、現状の保育士不足のままでは、必要な保育が継続できないこと、職員一人ひとりの負担が増大し保育現場が疲弊している状況も説明しました。

町内の保育は町が責任をもつて確保すべきことであるが、各法人の理事会において、安定した運営をするため3保育所の閉所を決定されたことを尊重したいと理解を求めました。

保護者や町民からの意見は次のようなものでした。

●保護者や地域と共に現状を認識し、方向性を検討する機会はずなでできなかったのか。

●これまで地域をあげて保育所を支えてきた。地元に保育所があるから、若者が帰って来るのではないのか。

●保育士不足の原因の検証はされたのか。確保対策はどのようにしていたのか。

●小中学校の再編と合わせて検討できなかったのか。



法人が閉所を決定した阿須那保育所

説明会後に3自治会、3保育所保護者会の連名で継続運営を求める請願が提出されました。

議会では、請願審査を総務教民常任委員会に付託しました。委員会では6名を参考人招致し審査を行いました。討論では、地域の子育て環境を維持するための町の責務は果たされていたのか。また、運営については民間法人の経営に関わることで、委員会として判断すべきでないとの意見もありました。一般質問では4名の議員が関連質問を行いました。

相次ぐ不手際

3月定例会以降、補助金申請や物品購入の確認漏れによる不手際が明らかになりました。

補助金がもらえない

令和8年度当初予算の「教育支援センター事業」費の内、今年度より新たに開始した「校内教育支援センター事業」の国県補助金319万8000円の収入が見込めなくなりました。

原因は、担当者が補助金申し込みの締め切り日を認識してなかったためだと報告がありました。

経緯は、3月12日に県教育庁からこの事業の申請について3月17日が締め切りの旨のメールが届きましたが、担当者は「校内教育支援センター事業」の補助金申請とは認識できていませんでした。

4月に入り事業を開始し、補助金申請について県に問い合わせたところ、3

月17日に申請受付が終了していることが確認できました。

その後、県教育庁に再申請について問い合わせましたが、最終的に申請はできませんでした。

この事業は瑞穂中学校内

給食車が納車されない

車両の老朽化により買換えを予定していた給食車が、納入期日になっても納入されない事態となりました。

令和7年1月29日に契約し、3月31日と11月28日に納期延長の変更契約をしていましたが、令和8年3月25日に確認したところ31日の納期に納入されないことが判明しました。

に校内支援センターを設置し、不登校や不登校傾向の生徒の支援をする事業で、生徒支援のため事業は継続したいとし、一般財源に財源を変更する補正予算が提出されました。

議会からは、これまで発生してきた不祥事の再発防止策の効果や、内部統制の取組みの有効性などの質問があり、議長からも再発防止に努めるよう苦言が呈されました。

令和9年3月31日まで再々度の変更契約を行い、予算は※事故繰越することになりました。

併せて、廃車予定だった古い給食車の車検費用26万5000円も補正予算に計上されました。

原因は、車両メーカー内で発注手

続きが進んでいなかったためと報告されました。

議会からは損害賠償請求やペナルティについて質問しましたが、協議・検討中であると答弁がありました。

また、再発防止についても物品購入契約にも進捗管理の手續きを定めたいと答弁がありました。

※事故繰越

年度内に完了しないことにより繰越明許費としたが予期せぬ事態により再度繰越すること。



なかなか引退できない給食車

香木の森公園

鉄棒事故和解

令和4年1月30日に香木の森公園で発生した鉄棒事故について、被害者の方との和解成立に関する議案が提出され可決しました。

事故は、香木の森公園の複合遊具使用中に鉄棒の固定金具が外れ、落下した際に後頭部を打撲されたものです。

事故発生後、被害者の方は回復をめざして治療に努められていましたが、この度後遺障害が確定したため、医療費も含めた損害賠償額を決定し和解することとなりました。

事故後、町は全ての遊具の再点検を行い、再発防止に向けて管理基準を定めるなどしてきましたが、今後とも事故を風化させず、教訓としなければなりません。

請願で願いが叶った瑞穂ICバス停

現在、バス利用者は駐車場から待合所へ急勾配の車道を利用して徒歩移動しています。

以前から獣害の危険性や降雪時の利用に不安の声があり、社会福祉協議会や身体障がい者福祉協会、あいサポートセンター虹の会から、バス停への点字ブロック敷設、安全性の向上を求める請願が提出され、議会も採択し、県へ意見書を提出していました。市木自治会からも安全確保に対する要望書が2度にわたり出されました。

その後、関係者も参加してのバス停周辺の施設改善の協議会が実施され、邑南町がバス停の管理者となり、点字ブロックの設置や待合所の移設は県が行うことが決定されました。

【経過】

●令和4年11月
社会福祉協議会、身体障がい者福祉協会、あいサポ

メッセンジャー虹の会から点字ブロック敷設など安全性向上を求める請願が議会に提出される。

●5年2月

町は関係者による改善協議会を設置し、邑南町がバス待合所の管理者となる事、点字ブロックの設置、待合所の移設は県が行うことが決定される。

●6年11月

市木自治会から町に、バス停駐車場からの道路の傾斜、暗さ、冬季の凍結など安全確保対策を求める要望書が提出される。

●7年2月

市木自治会から再度安全確保対策を求める要望書が提出される。

●7年5月

町は現町道を活用した歩道の新設案や、駐車場とバス待合所を接続する階段の設置案など複数案を提示し、自治会、県、県公安委員会、ネクスコ西日本との

協議を重ねる。

●8年3月

町は自治会、県、県公安委員会、ネクスコ西日本と協議の結果、3月末に関係者の合意を得た。

測量設計、道路改良工事など1900万円を6月補正で可決しました。工事は7月に着手し、年度内に完了の予定です。



瑞穂ICの道路改良予定図

国保税今年も増税

国民健康保険税の税率引き上げが提案され、その内容が定められた「国民健康保険条例の一部改正」を可決しました。

令和7年度の総医療費は入院数が減ったことなどに

より減少し、被保険者数も年々減少傾向ですが、一人当たりの医療費は増加しています。

今回は、約2500万円分の基金を取り崩しての予算編成で、取り崩し後の最終的な年度末の基金残高は、約4900万円と見込まれます。

基金の活用により邑南町の現行税率は、すべての区分で県の標準保険料率より低く抑えられています。安定的な制度運営には、約7000万円の基金保有が目安とされています。

過去3年間の医療費や被保険者数の伸び率、子ども子育て支援金制度の新設分などを分析した結果、8年度の調定額は、8万3469円となり前年度と比べて8554円の増加となります。

陳情・意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書の提出を求める陳情

採択



総務教民常任委員会

奈須 正宜 委員長

この陳情は、邑南町職員連合労働組合執行委員長安田和史氏から提出されました。

地方自治体は、急激な少子高齢化にともなう、医療・介護など社会保障制度の整備、子育て施策、地域活性化対策はもとより、デジタ

ル化、脱炭素化、物価高騰対策など極めて多岐にわたる役割が求められています。また、感染症対策、多発する大規模災害への対応にも迫られています。

こうした中で、各施策分野の充実強化をはかり、地域の安心・安全を支える公共サービスの充実・確保を基本とする自治体予算編成を確立するためにも「地方財政の充実・強化」を求める意見書を国会及び政府に提出することを求めています。

総務教民常任委員会では、提出者を参考人招致し、陳情の趣旨を確認し、審査した結果、全員賛成で採択しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

陳情の採択を受け、次の項目の実現を求める意見書を提出しました。

- ① 増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、積極的な地方財源の確保
- ② 社会保障経費の拡充と人材確保
- ③ 地方交付税の法定率を引き上げ、自立的な地方財政の確立に取り組むこと
- ④ 地方財政を棄損することがないよう、地方財政への影響が想定される場合は、確実にその補填を行うこと
- ⑤ 「地方創生推進費」1兆円は恒久的財源とする
- ⑥ 2027年度の給与改定に備え、十分な財政措置を講じること
- ⑦ 会計年度任用職員の勤勉手当支給の継続と更なる処遇改善の財源確保
- ⑧ 自治体業務システム標準化について、必要な財源を補填
- ⑨ 地域公共交通について専任担当者の確保支援

請願

児童福祉法に基づく保育実施の責任遂行と市木・阿須那・日貫保育所（園）の継続運営に向けた町の支援強化について

総務教民常任委員会

奈須 正宜 委員長

この請願は、市木自治会長 林賢司氏、阿須那自治会長 瀧本昭平氏、ひぬい自治会長 古田五二嗣氏の3自治会長と、市木保育園保護者会長 池田里菜氏、阿須那保育園保護者会長 戸谷慎吾氏、日貫保育所保

⑩ 地域医療を安定的に確保する観点から、公立病院に対する十分な財政支援を講じること

⑪ 小規模自治体支援のため段階補正を拡充
⑫ 自治体の行う事業において労務費の適切な価格転嫁

護者会長 洲濱施子氏の3保育所（園）の保護者会長から、提出されました。

町に対し児童福祉法に基づく保育実施の責任遂行と市木・阿須那・日貫保育所（園）の継続運営に向けた町の支援強化を求める請願です。

総務教民常任委員会では、3自治会長と、3保育所（園）の保護者代表を参考人招致し、請願の願意を確認しました。審査した結果、3保育所の継続運営は、民間法人の経営に関わることで、委員会としては、判断すべきでないとの不採択の意見はありましたが、町は地域における保育の機会と質を維持することなど、願意は理解できるとし、賛成多数でこの請願を採択しました。

討論

**保育実施の責任遂行
と3保育所の継続運
営に向けた町の支援
強化について（請願）**

反対

中村昌史 議員

保育の質と量の確保は町の責務であり、保育実施の責任遂行を求めることは当然の主張であるが、保育所の継続運営は民間法人の経営に関わることであり、議会として判断することではないと考える。

また、委員会に招致した参考人の皆さんのご意見も、継続運営を求めるものよりも結論に至った経過に

課題があるとする意見が多くあり、このことは、継続運営を求める請願の趣旨とは少し異なる。

以上の点から、この請願は不採択とせざるを得ない。

その上で町に対して保育の質と量の確保に努めること、保護者地域住民の不安解消に全力を尽くすことなどを求める決議を提出することが妥当と考える。

賛成

石國佳壽子 議員

今回の請願で示されているのは、3保育所の閉所という重要な方針決定に対し、保護者や地域住民との十分な協議が行われたのか。

また、他の選択肢について検討が尽くされたのかという問題提起である。分園化や他の保育サービスとの連携など、地域で子どもたちを育て続けるための方策について、さらに検討する

余地はなかったのか。また、保育所のあり方は今後の小中学校再編や地域の将来像とも深く関わる課題だ。

保育所だけを先行して閉所するのではなく、地域の将来を見据えた議論の中で、住民や保護者とともに方向性を考える必要があったのではないか。

それらの声に耳を傾けることこそが議会の役割であると考ええる。請願に込められた保護者や地域住民の思いを重く受け止め、本請願に賛成する。

反対

**国民健康保険
税条例の一部改正**

日高八重美 議員

令和8年度の調定額は、8万3000円余りである。医療分、後期支援金合わせて前年より約8500円多く、ここ数年、毎年値上がりしている。また、本年より子ども支援金も上乘

せされている。

特に今年は中東情勢の影響で物価高騰や先行き不安な生活環境の中で、多くの加入者である農業者や自営業者、非正規雇用のみなさんの命と暮らしを守ることが最優先であると考え、国保税の値上げをする本議案に反対する。

賛成

中村昌史 議員

国保制度は、国民皆保険を支える重要な制度で健全な運営が求められる。現在は、県が主体となって運営を行っているが、令和15年を目途に県内全ての市町村で同率の保険料に統一する方向で検討が進められている。

また、令和6年以降の基金取り崩しは、2000万円前後と高額が続いており、適正な基金残高を確保するためにも今回の増額改定はやむを得ないと考え改定案に賛成する。



起立採決で賛成多数

6月定例会 議案の ゆくえ

今議会の主な議案を紹介
します。

「財産の取得」は、消防
車両の老朽化に伴う更新
(2台分)と、井原コミュ
ニティセンター整備事業の
土地取得、小中学校G I G
Aスクール端末の更新で
す。

「工事請負契約の締結」
は、井原コミュニティセン
ター整備事業の造成工事で
す。

「税条例の一部改正」は、
地方税法の改正によるもの
です。

「国民健康保険税条例の
一部改正」は、昨年度に引
き続き税率の引き上げをす
るものです。

「邑南町グラウンド等施
設条例の一部改正」は、矢

上屋内多目的コートを廃止
するものです。

「辺地計画の策定(川角
平佐辺地)」は、町道日南
川上田線災害防除の整備に
辺地債を発行するためのも
のです。

「一般会計補正予算第1
号」は、主に校内教育支援
センターの補助金申請漏れ
による財源変更と、給食車
の車検代、瑞穂インターチ
エンジのバス停付近の改良
工事によるものです。(3、
4ページ参照)

「国民健康保険事業特別
会計補正予算第1号」は、
主に、職員給与費の増加と、
過年度分の償還金によるも
のです。

「損害賠償の額の決定及
び和解」は、香木の森公園
鉄棒事故による損害賠償額
の決定と、和解によるもの
です。(3ページ参照)

6月定例会 全員賛成にならなかった議案 ○=賛成、●=反対、－=除斥、欠=欠席、議=議長

区分	議案の内容	石國	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	宮田	中村	辰田	山中	漆谷	結果
請願	児童福祉法に基づく保育実施の責任遂行と市木・阿須那・日費保育所(園)の継続運営に向けた町の支援強化について	○	○	○	○	○	○	議	●	●	●	○	－	採択
条例	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議	可決

令和8年度6月補正後

	当初予算の額	6月補正額	6月補正後の額
一 般 会 計	135億5800万円	△107万円	135億5693万円
国 民 健 康 保 険	12億8900万円	3235万円	13億2135万円
直 営 診 療 所	1億3730万円	96万円	1億3826万円
後 期 高 齢 者 医 療	4億5100万円	－	4億5100万円
電 気 通 信	3億9400万円	－	3億9400万円
特 別 会 計 合 計	22億7130万円	3331万円	23億 461万円
総 合 計	158億2930万円	3224万円	158億6154万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

いっぱん 質問

質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	瀧田 均	(1) 保育所の閉所	9
2	日高 八重美	(1) 保育所閉所と子ども条例 (2) 中学校給食費の支援 (3) 生活交通システム	10
3	野田 佳文	(1) ふるさと納税の推進	11
4	石國 佳壽子	(1) 3保育所閉所 (2) 公民館主事の今後	12
5	奈須 正宜	(1) タクシー利用助成事業 (2) 放課後児童クラブ	13
6	鍵本 亜紀	(1) 保育所の閉所	14
7	平野 一成	(1) 町民との信頼関係の構築と協働による町政運営 (2) 「邑南町といえば〇〇」をどう発信するのか (3) 「平和学習」の考え方	15
8	辰田 直久	(1) 協働の町づくりに向けた意識改革と協調の必要性	16

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

ガツテン!! 一般質問

今に始まった傾向ではないが、課題が発生するとその課題について質問が集中する▼6月議会においても町内3か所の保育所廃止問題に住民からの請願などが出て質問が集中した。昨年末に執行部からも保育所再編の説明がされていた時には平静を保ち、このたび急に多数の議員が住民寄りの質問を行った▼それが間違っているとか悪いとは言わないが、もう少し背景やデータ、規則などを基に研究し理論武装して訴えないと説得力がない。また、請願の主旨にも少し疑問もあったが、先の3月議会でも質問は可能であった。事前に問題が起きないように関心を持って提案や対策を問うこともできたはず▼これは、これまで私が一般質問をしてきた経験から感じたことです。

(辰田)

3保育所の継続運営を

課長

町全体で保育の確保を果たす

瀧田均議員

保護者への説明もなく短期間で、保育所の閉所について決定されたのはどういう理由からか。

岩井医療福祉政策課長

一時預かり保育や子育て支援センターの事業縮小、土曜保育の縮小なども余儀なくされ、こうした状況が2年連続して発生している。背景には、町の生産年齢人口の減少があり、極めて困難な課題となっている。しかしながら、子どもたちの保育環境の質の低下などの現在の状況は、早急に改善しなければならぬ。そのため、この度の3

保育所の閉所は、各法人において法人の意思決定の手続きに沿って進められ、町としては、保育体制を守るために法人の決定を尊重する考えだ。

それぞれに理事会において、令和8年度をもって閉所することが決定された。

瀧田議員

保育所を運営する法人との話し合いの中で、町として支援できることは何かないかなど提案したか。

岩井医療福祉政策課長

保育所運営法人から人材確保の支援を求められる中で、提案という形ではなく町が実施する事業を通じて、人材確保の支援を行っている。

白須副町長

法人と話をする中では、やはり経験者というところがまず人材確保の玄関口なので、OBの方に声掛けをしているということを聞いている。

町の方でもそういった経験者へ声掛けを行っている。

瀧田議員

邑南町の保護者や住民への十分な説明や意見交換などが不足していた反省から、小中学校の再編に合わせ保育所の再編を考えるべきと思うが考えを聞く。

岩井医療福祉政策課長

保育所の再編と小中学校の再編計画は一体のものとして議論すべきという指摘は、地域コミュニティの総合的な計画推進の観点から非常に重要なことと考える。

しかし、保育士確保が極めて厳しい現状であることから、保育所の再編を先行して実施していきたいと考えている。

えている。

瀧田議員

地域における保育の機会と質を維持する法的責任は邑南町にあるのではないかと。町の責任で3保育所の継続運営を含めた適切な対応を求める。

岩井医療福祉政策課長

この度の保育所再編は、施設を集約することにより保育に必要な人員を確実に配置し、子どもたちの安全安心を担保した上で適切な規模の集団保育による豊かな育ちの場を維持・確保することで、邑南町全体で保育の実施義務を果たしていきたいと考えている。



ヤギと一緒に遊ぶ園児たち

町民の思いは置き去りでいいのか

ひだかやえみ
日本共産党 日高八重美 議員

町長 法人の決定を尊重し決断



日高八重美議員

町内3保育所の閉所決定に至る過程で、邑南町子ども条例に示されている町や事業所の果たされた役割について問う。

大屋町長

議会には、昨年8月頃から保育所の現状について説明をしてきた。園児数が減り経営上大変なところは、町が補助金を出してきた。しかし、保育士不足や配置基準の変更等で一時預かりや支援が必要な子どもに対して十分な保育サービスができていない。

子ども条例では「誰一人取り残さない」とあり、子

どもが置き去りにされない対応が求められているがそのような状況になっていない。

説明不足は反省するが改善するためには再編はやむを得ないと判断した。町内の保育を維持していくことが役割だ。

日高議員

子ども条例では、施設等は運営について意見を聴き協力を求めると示されている。閉所決定までに保育所が危機的な状況にあるという実態を保護者や地域に情報公開しなかったのはなぜか。

大屋町長

法人は、運営等の公表や普段の保育については情報提供をしている。保育士不足は地域に協力を求めて解決できることではない。保育所の再編で職員の負担を軽減し、決断をして準備を進めるしかないと判断した。

議会には、町民の代表なので現状の説明はしたつもりだが、危機感を共有でき

ていたかは別のことである。情報の出し方、内容、目的を明確にしないと危機感も伝わらないし議論も深まらない。議会において

も、どこまで議論をせまるのか情報の出し方をしっかり検討をしていきたい。

日高議員

今後、再検討をすることはできないのか。

大屋町長

理事会で決定されているので尊重し、職員の負担軽減を図る。

問 中学校給食にも支援を

日高議員

物価高騰で子育て世帯は、給食費以外にも教育費の負担がある。小学校給食費と同様に中学校給食にも支援はできないか。



水やりがんばってるね！

答 中小企業事業者への支援金の活用を

大屋町長

当初予算では、物価高騰による臨時交付金の活用で、小規模事業者の支援を行っている。使い道についての指示はしていないので子育て世帯には、支援金を活用してほしい。

その他の質問

日高議員は、住み続けられる地域づくりのために移動の保障が必要である。誰もが利用しやすい生活交通システムの検討について柔軟な対応を求めました。

ふるさと寄附に 地区を応援するメニューを

課長 検討協議を重ねている

野田佳文議員

令和8年度ふるさと納税の目標額2億円の設定根拠は。

小笠原産業支援課長

実現不可能ではないめざすべき目標であり、地元の中間事業者では、5年度からの5ヶ年計画において最終年度の目標額3億円をめざし業務にあたっている。

野田議員

7年度において、目標達成に向けて実施した新たな取り組みの内容及び評価は。

小笠原産業支援課長

新規返礼品の拡充により返礼品目数が過去最多の346品目に増加した。



邑南町ふるさと寄附金の お願い

私たちのふるさと邑南町は、「地域とつながり、挑戦を育む町」を目指し、様々な取り組みを行っております。

これからも、元気なふるさとであり続けるために、皆さんからの応援をお待ちしています。

ふるさと寄附制度を活用して、邑南町への寄附をお願いします。



ふるさとを応援

礼品の開発であれば、検討の余地がある。

野田議員

邑南町第3次総合振興計画に掲げる地区を応援するメニューの検討状況等、今後の具体化に向けたスケジュールは。

小笠原産業支援課長

計画の趣旨も踏まえ、活動を支援する財源確保策としてのふるさと寄附の活用可能性については、現在、関係課と検討協議を重ねる制度設計に向けた課題整理を行っている。

引き続き、課題や方向性を整理し、議論を深めながら対象事業の見直しの必要が生じた時、役場内全体での協議も進めていく。

大屋町長

今の考え方だけでは少し限界があり、行き詰まり感が強い。お金を増やすだけではなく、本来の目的は何だったのか、町がどうなりたいのかも含め、しっかりと検討していく。

小笠原産業支援課長
多様なSNSの展開を模索する。
野田議員
空き家管理サービス等、邑南町出身者向けの返礼品のPR強化を。
小笠原産業支援課長
出身者を対象とした返礼品開発を進める必要があり、アイデアをいただければ、開発を進めていきたい。

小笠原産業支援課長
体験型返礼品の開発は。体。
野田議員
さらに充実していきたい。アイデア等あれば提案いただきたい。
小笠原産業支援課長
地域資源を活用した加工品の開発を。
小笠原産業支援課長
付加価値を高める工夫や高額な寄附に対応できる返

検討段階から住民参加を

いしくにかずこ
石國佳壽子 議員

町長

町政運営説明会を活用 していきたい

岩井医療福祉政策課長
法人理事会で閉所決定後に地域説明会を開催したため、事前説明は行っていない。保育士不足は深刻で、安全な保育環境を維持するため再編が必要と判断した。事前に地域や保護者へ情報提供できなかったことは重く受け止めている。

石國佳壽子議員

阿須那・市木・日貫の3保育所閉所について、保護者や地域住民から反対の声が上がっている。保育士不足は理解するが、事前に住民と協議する機会はあったのか。



石國議員

保育所再編によって保育サービスはどのようになるのか。

大屋町長

再編は、現在十分に実施できていない加配保育や土曜保育など、本来行うべき保育サービスを維持・確保するためのものである。

石國議員

住民の反対に今後どのように向き合うのか。

大屋町長

反対の声があることは十分承知している。町全体の保育サービスを維持のため必要な判断であり、負担をお願いする方々に対して丁寧な説明を続け、理解を求めていく。

問
公民館主事

配置問題

石國議員

地域運営組織が設立された地区で公民館主事を常駐させない方針は撤回された。今後の公民館主事や社会教育のあり方をどのよう

に考えているのか。

答
社会教育の

あり方を検討

大橋教育長

社会教育の充実を基本に、公民館主事の配置や役割を含めた社会教育のあり方を検討する。地域運営組織やコミュニティスクールとの連携も踏まえながら、将来につながる社会教育を追求していく。

石國議員

地域運営組織と公民館の将来像をどのように描いているのか。

白須副町長

地域コミュニティのあり方検討委員会が示した将来像をめざしつつ、地域ごとの状況に応じて進めていく。住民や地域と協議を重ねながら将来の姿に向かって取り組む。

石國議員

保育所や公民館は地域コミュニティを支える重要な基盤である。住民は何でも反対したいのではなく、地域の将来をともに考えたいと思っている。重要な政策ほど、結論だけでなく検討過程から住民が参加できる仕組みづくりを求める。

大屋町長

7月に行う町政運営説明会から時間的余裕を持ちながら現状、課題を説明し来年度の準備をしていく方針で議会と住民に示していきたい。



地域運営組織が始まった出羽公民館

空き教室を児童クラブとして活用しては

町長 今後しっかり議論したい

奈須正宜議員

放課後児童クラブ支援員の配置、年齢構成、資格保有状況は。人材確保の課題認識と、5〜10年先の計画はあるか。

岩井医療福祉政策課長

全体で77人、有資格者は42人。60代以上が約7割を占める。勤務制限等から若い世代が就労しにくく、人材確保や後継者育成が課題だ。将来の計画は、児童数減少や学校のあり方の検討時期と重なるため現時点では未策定である。

奈須議員

午前中に運営事務、午後から通常業務を行うフルタ

イム勤務は考えられないか。

岩井医療福祉政策課長

1日分の賃金が得られるため検討事項だが、実際に1日分の業務量があるかを見極めながら考えたい。

奈須議員

長期休暇中の保護者の二一ス把握と運営への反映、開所時間延長や昼食提供の取り組み状況は。

岩井医療福祉政策課長

開所時間の前倒しを行うクラブはある。昼食はクラブ内での調理や実費での弁当手配など、各クラブの実情に応じ対応している。

奈須議員

弁当準備は保護者の負担が大き。給食センターを活用して昼食を提供すれば、夏休み中に給与がなくなる臨時職員の雇用安定（給与保障）にもつながるかどうか。

白須副町長

雇用の安定や施設有効活用などのメリットはあるが、まだ検討は行っていない。メリット・デメリット

を整理し研究したい。

奈須議員

築50年以上の児童クラブ数と、修繕要望や空調の整備状況、対応は。

岩井医療福祉政策課長

築50年超は2箇所。修繕は各クラブからの連絡で把握し、当初予算や予備費で対応。空調更新は計画的な修繕ができず故障に応じ対応している。

奈須議員

児童クラブの充実も重要だ。児童の安全確保、老朽化対策や学校統廃合の利活用を一体的に進め、今後の学校施設を複合施設として活用していく考えは。

岩井医療福祉政策課長

教室不足等

から現時点では難しい。

原学びのまち

総務課長

学校教育に支障を来さないよう業務と責任の明確な分離、適切な距離感が極め



地域で見守る子どもたち

て重要だ。スペース面でも、特別支援学級増加やG I G Aスクール対応等で完全な余裕スペースの長期的確保は困難。事故時の責任所在などルール明文化も多く、現場の混乱を招く恐れがあるため現時点では難しい。

大屋町長

建物をどうするかという以前に、放課後の過ごし方を預かるだけでなく「学び場」にするのかを含め、町としての児童クラブの役割や関わり方の議論を深める必要がある。地域の力も借りつつ、何が一番良いのかを探りしっかり議論したい。

不信感はどう払拭するのか

かぎもと あ き
鍵本亜紀 議員

町長 結果を出し信頼に繋ぐ

鍵本亜紀議員

所信表明からの引用で質問する。若者応援、子育て世代の応援が必要と言われているが、今回の保育所の再編によりこの世代からの不信、不満、不安の声が大きい。どう思われるか。

大屋町長

現時点で十分な保育サービスができていないことへの解決として、3保育所を閉所した上での再編をというお願いだ。今、サービスを受けられなくて困っている方には十分でないという意味では、そこをやる責任がある。

鍵本議員

天才の生まれる場所には必ず豊かな自然と美しい景観がある。邑南町にはそれがあり、人づくりに生かしていくと言われているが、実際にそれを体現している保育所を閉所にするのはなぜか。

大屋町長

どこも地域の皆さんが関わって特色ある保育をされており、非常に敬意を表するが、全体のサービスを維持するために再編する。今の危機的な状況を何とか解消し、本来のサービスができるようにする必要がある。

鍵本議員

誰もが平等に公平に社会参画できる仕組みづくりの第一歩として、情報公開を充実させると言われているが、以前の地域運営組織を立ち上げた3地区の公民館主事のこと、今回の保育所の再編による3地区の保育所のことは、当事者の知らないところで決定されているのはなぜか。

大屋町長

ここまでの進め方には反省もあるが、町長の責任でやむを得ない決断だ。次に向かうための対応はしっかり考えていく。

鍵本議員

UIターナー者の減少を問題とされているが、今回の保育所の件では、地元で子育てしたくて帰ってきたUIターナー者、来てみて田舎のすばらしさを喜ぶUIターナー者の生の声を聞いた。その方たちに寄り添う声掛けはないのか。

大屋町長

日和小学校の閉校に関わったので、保護者の思いはよく理解している。その上での決断だ。



自然の中で遊ぶ園児

鍵本議員

町長が保護者の思いを理解されているということ、が、町民に伝わっていない。日本一の子育て村をやってきたから小さな保育所も維持継続できているというのが本来ではないか。

大屋町長

保護者も多様化する中で、の対応をしていくことが、日本一の子育て村だと思っている。

鍵本議員

今ある不信感はどうやって払拭していくのか。

大屋町長

今は仕方なくても、必要なことをやって結果を出していく事で信頼に繋がる。

協働の確立へ丁寧な説明を

町長

情報提供、合意形成に努めていく。

平野一成議員

協働の社会を創るために、町民の皆さんとの信頼関係をどう作り上げていくか。

高瀬総務課長

職員一人ひとりが地域の課題を自ら考え行動する組織の変革が必要と考える。そのため、心理的安全性が高い職場づくり、地域課題解決能力の向上、多様な人材の能力最大化の3点を重点方針として、町民の皆さんの期待に応えられる人材育成をめざしている。

平野議員

2月に行われた町政運営説明会以降、町の行政運営

の進め方に対し、町民の皆さんの中に、説明不足、丁寧さを欠くといった不安や不満の声がある。対処次第では、今後の町政運営に大きな影響が出ると思う。どう対処していくのか。

大屋町長

改めて、協働の在り方、町と町民の皆さんとの距離感、役割というものをしっかり考えていかなければならない。皆さんの手元に届ける情報の形を整理したいと思っている。こうした意見をいただくという事は、関心を持っていただいている事だと思う。関心なり、期待に答えられるように情報提供、合意形成に努めていく。就任して2回予算編成をしてきて、これまで把握できていなかったリスク等が、かなり整理できてきたと思っている。今の課題、今後の懸念を、事前にお話



平和の礎の前で
瑞穂中学校平和宣言を読み上げる

しできる場として、7月に町政運営説明会を予定している。

問

平和学習に

ついて

平野議員

本年、沖縄県で平和学習中の高校生が、悲しい事故で亡くなられた。現在、文部科学省も介入して、平和学習について社会的議論となっている。本町の瑞穂中学校では毎年沖縄での平和学習に行かれているが、保護者の方も心配されているのではないかと。目的や学習内容、保護者への説明、安

全管理について問う。

答 命の尊さを理解する良い機会

原学びのまち総務課長

戦争の悲惨さや命の尊さを学び、平和を自分自身の課題と捉え積極的に貢献する態度を育成することを目的としている。指導に当たっては、一面的な見方に偏らないように、多様な視点から考察することを大切にしている。保護者に対しては、事前に説明会を開催し、行程・学習内容・安全管理体制の説明を行っている。平和学習で培った命の尊さの理解は、町の教育のあらゆる分野で極めて重要な役割を果たしていると評価している。

その他の質問

平野議員は、他に邑南町第3次総合振興計画の中にある、邑南町といえば〇〇について、どう発信するかを質問しました。

行政と町民で協調した 意識改革を

たつたなおひさ

辰田直久 議員

町長 危機感をもって対応したい

辰田直久議員

人口減少や歳入の減少など、合併当時より環境が大きく異なる中で、行政と町民が協調して町づくりをするために、双方の意識改革が必要な次の事案について問う。

- ①公民館主事の今後の配置のあり方
- ②保育所の閉所問題における町の立場
- ③職員の確保と内部統制
- ④新電力会社「おおなんきりエネルギー」の事業展開
- ⑤自治会再編における町の役割
- ⑥矢上高等学校の課題と支



援

- ⑦町内消費拡大における行政と町民の役割
- ⑧補助金事業の傾向と優先順位

大橋教育長

- ①人づくりは地域づくりであり、社会教育の充実のために姿、形を含めた配置と機能重視、定員適正化の議論も含めて進めていく。

岩井医療福祉政策課長

- ②保育士確保が最大の課題であり、そのため町としては運営法人の努力以外に人材バンク登録や矢上高校との連携強化をしてきたが、労働人口の減少が確保困難な原因となっている。

高瀬総務課長

- ③町内外から本町に関心のある新規採用職員を確保しているが、町内出身者（応募者）は減少傾向である。定年延長や任期付職員の採用で充足はしている。業務の効率かつ効果的な遂行、報告の信頼性、法令等の遵守、資産保全のために厳格な対応が必要と認識している。

秋田町民課長

- ④これまでの発電設備の整備を基に、電気の小売事業に注力しエネルギーの地産地消をめざす上で加入促進に努めて支援を行っている。

田村地域みらい課長

- ⑤自治会再編は将来にわたり住民自治を守るためのもので、町が地域住民の危機感を共有して全面的に伴走することが基本と考える。それには財政的な人的支援や活動支援も含まれている。

田村学びのまち推進課長

- ⑥町内志願者の減少もあり、定員を大きく下回る状況に危機感を持ち、将来の邑南町を支える人材育成のためにも地元中学生に魅力的な進学先となるよう高校の振興に取り組む。

小笠原産業支援課長

- ⑦物価高騰対策も含め、さくらカードのキャンペーンなどの町独自で町内消費の好循環が生まれるよう取り組んでいる。町民や事業者に参加いただけるよう商工会とも連携して地元消費の意識高揚のために周知を図る。

森田財務課長

- ⑧財政事情は非常に厳しく、補助金についても見直しや整理統合を検討している。事業を精査して成果や必要性を判断し、人口対策や地域活性化など費用対効果も重視して優先順位を決定する。

大屋町長

- さまざまな課題について、危機感をもって対応をしたい。



入学者確保が課題の矢上高校

第19回意見交換会を開催します

日 時		場 所		参 加 議 員		
8月3日 (月)	午後7時～ 8時30分	中野公民館	研修室	漆 谷	宮 田	野 田
		矢上公民館	研修室 1.2	中 村	奈 須	石 國
		日貫公民館	研修室	山 中	瀧 田	日 高
		口羽公民館	ホール	辰 田	平 野	鍵 本
8月4日 (火)	午後7時～ 8時30分	日和公民館	研修室	辰 田	平 野	鍵 本
		出羽公民館	ホール	山 中	瀧 田	日 高
		高原公民館	ホール	漆 谷	宮 田	野 田
		布施公民館	和室大	中 村	奈 須	石 國
8月6日 (木)	午後7時～ 8時30分	井原公民館	研修室	中 村	奈 須	石 國
		田所公民館	農林研修室	辰 田	平 野	鍵 本
		市木公民館	和室	山 中	瀧 田	日 高
		阿須那公民館	大会議室	漆 谷	宮 田	野 田

今年も意見交換会を8月3日(月)、4日(火)、6日(木)に開催します。これまで通り、各地区に議員3名ずつで伺います。

昨年までの意見交換会では、特にテーマは定めず町政に対する要望や困りごとなど日頃思われていることをお聞きしました。

今年は、テーマを設定して意見交換をしたいと考えています。

テーマは、「学びのあり方、小中学校の再編について」です。

教育委員会も取り組みを始めていますが、学校再編案が示される前に、一緒に考えてみませんか。

多くの方の参加をお待ちしています。

* 執行部への要望についてはできるだけ控えさせていただきますが、場合によっては当日参加の議員と相談してください。

小中学校の在り方検討委員会報告

令和7年度に松本一郎委員長以下5名の委員による検討会が5回開催されました。児童・生徒にとつて、何が「学び・成長」の最善なのか、議論されています。

【答申】(令和8年3月3日) 小中学校の再編については「統合」が必要である。今後は、「子どもの教育の質の向上」「地域の発展」という前向きな目的を中心に捉え、開かれた場での丁寧な対話と建設的かつ前向きな議論をお願いします。

教育の在り方研修会

令和8年6月24日に「邑南町の教育と一緒に考えよう」と題して松本一郎委員長による研修会が開催されました。

内容は、検討委員会の答申内容を共有するものでした。

今後も研修会は続けられる予定です。ぜひご参加ください。

(後日、ケーブルテレビでの放送も予定)



昨年行われた意見交換会

大規模事業その後

昨年発行した94号で、大規模事業完成間近という特集を組みました。今回、「道の駅邑南の里」が1周年を迎えますので、その後の実情取材しました。

必要な事業だったのか

昨年8月4日にグランドオープンした「道の駅邑南の里」は、旧道の駅瑞穂より売り場面積は3倍、駐車場は2倍、地熱を使った融雪設備を備える等、施設規模の大型化に不要論も飛び交う中、町民にとって必要な整備事業だったのでしょうか。

商品の品揃えは

来客数が増えれば商品が足らなくなるのでは。

来客数倍増

グランドオープンを迎えた直後、旧道の駅の駐車場を臨時駐車場にする対策をしていましたが、最大50分待ちの入庫制限がかかる程の賑わいでした。オープンのみだけでなく賑わいは数か月続き、全盛期の来客数は旧道の駅の2倍、取材し

た6月現在は3〜5割増でした。今春から来店数は安定しています。客数は順調に伸び、現在はリピーター対策に向けて動いています。

組合員の増加

オープン前から神紅の出

分で出荷して他の生産者の野菜や価格チェック、スタッフや他の生産者との会話を楽しまれる方も多く、出荷者の憩いの場であるのは旧道の駅瑞穂同様変わりないようです。この他、組合員への出荷催促メールをこれまで以上に詳細かつ最速で配信する等、品切れ対策を講じていました。メール配信では、講座やイベント連絡、苗の予約受付等、組合員へのサービスの充実にも図っています。

組合員の増加

オープン前から神紅の出

荷者が登録し始めたのも相まって30代の組合員も増加し、全体で20人程度増えています。最近増えているのは、会社勤めの方が副業で野菜を栽培し販売するための登録者で、若い世代が増えています。

規模拡大は成功

売り場面積が広がって通路の拡大をしたことでベビーカーや車椅子の方のご利用が増えました。

そして、これまでは広島県からの来場が殆どでしたが、九州や関東方面の来店も増えました。



来客増に張り切る田中駅長

取材した日も、平日にも関わらず定食が食べれる「みずほの幸」は多くの客で賑わっていました。浜田市から4名の女性、広島市の庄原からご夫婦でオープンの時から来店されたり、愛知県から初めて来られた女性や広島から4回以上来店されている女性、口々に雰囲気が良い、くつろげる、野菜が美味しい、インスタを見て来た等、好評でした。

地熱融雪設備は冬の売り場の底冷えも防げ、何より除雪が不要だったことは大きなメリットでした。2Fはバスを待つ学生の勉強スペースや憩いの場として、小さな展示会場としても使われフル稼働しています。イベントエリアでは初の大型イベントを行う等、最盛期から安定期に向け順調に進んでいます。

道の駅邑南の里の本来の目的の一つ、「12地区をつなぐ道の駅」に向けてイベントを開催する等、意欲をもたれていました。

6月議会では、委員会・本会議等で40名の傍聴がありました！
その中で、一般質問を傍聴された4名の方に感想を伺いました。
貴重なご意見ありがとうございました。

傍聴席の声

- ◆もう少し市民の声が反映されるもの
だと思っていました。(60代男性)
- ◆一般質問の議員の声が聞こえにく
かった。ちゃんとはっきり喋っ
てほしい。(70代男性)



日高地区 古田さん

- ◆もう少し深く掘り下げた質問をして
ほしかった(40代男性)
- ◆審査会の参考人招致に初めて参加し
て大変緊張しました。(30代男性)



日高地区 白石さん

三階席

最近、市民の皆さんからの
請願・陳情が増えていま
す。請願は憲法第16条に定
められた請願権に基づくと
のもので、基本的な権利の一つで
す▼陳情は、法律上の権利
はありませんが、邑南町で
は請願と同様に扱うように
決めています。請願には紹
介議員が必要ですが、陳情
には不要です。請願・陳情
の書式は定めています。提
出年月日、請願・陳情者の
住所氏名を記載し、署名押
印して下さい▼請願の場合
は紹介議員の署名押印が必
要です。提出は事務局に持
参して下さい。説明が必要
な場合は事前連絡の上、議
長に提出して下さい。採決・
不採決の結果は後日連絡し
ます▼憲法で認められた権
利ですので、制度に沿って
有効に活用して下さい。

(まさし 記)

議会の傍聴にお越しください

9月定例会は、9月2日からの開催を予定
しています。
一般質問だけでなく、全員協議会などすべての
議事が傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先
議会事務局

TEL：0855-95-1113
I P：050-5207-3021

ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議
会のことについてご意
見、ご質問などがござい
ましたら、お気軽にご連
絡ください。

広報公聴常任委員会

委員長	日高八重美
副委員長	石國佳壽子
委員	中村 昌史
	瀧田 均
	鍵本 亜紀
	奈須 正宜



このQR
コードから
スマホでも
ご意見が寄
せられます

心をふっと軽くする場所

交流施設 備前屋
おおやま ひでこ
鹿子原 班 大山 英子さん



備前屋のHP



にっこり笑顔の大山さん



心地いい風が吹き抜けるテラス

「ご自身が今まで培って来られた経験を生かし、学校へ行きにくいお子さんなどの支援や、悩みを抱える大人の心理的な分析や支援もされ、垣根のない居場所を作っておられます。」「誰で

人が集まる居場所を作りたかったと、矢上のご実家を改修して、昨年末に合同会社「備前屋」を立ち上げ、4月に交流や調理体験ができる施設としてオープンされました。

教員として約40年間、特別支援教育などに携わった、公認心理師である大山英子さん。

人の可能性を信じて、見守るお母さんの眼差しで、にっこり微笑む大山さん。邑南町の教育委員もされています。また、教育支援員として町内小中学校の児童生徒さんに対して、生活

も気軽に来れて、前に進む力を蓄えることができる場所にしたい」「なりたいたい自分をめざす人達を精一杯応援しますよ。」



どこか懐かしく、落ち着きのある内装

指導上や学習指導上でのサポートをしております。備前屋では、ここに書ききれないさまざまなことをされています。QRコードからホームページをご覧ください。取材 鍵本亜紀

編集室の窓



3月定例会以降、危険物持ち込み騒ぎ、熊による被害や3保育所閉所の話題などで、落ち着かない日々でした。ただでさえ春は気忙しい、職員の方々は異動もあって大変な中の対応に、頭の下がる思いです▼議員は町民の皆さんの声を町政に届けるのが仕事です。今回の閉所決定された3保育所の件は、当事者不在の決定で納得できない案件でした。町長、役場職員、議員、保護者、町民、どの立場であつても、邑南町を思う気持ちは同じです。縮小していくことは免れないけど、町民憲章にある「人を尊び心の通う」邑南町を体現したいですね▼これから読みたいくなる議会広報をめざしています。今回は多くの方に見ていただけたら幸いです。

(鍵本亜紀)